

## ARISSスクールコンタクト実施に関する注意事項

V.23 (2006.08.31)  
7M3TJZ 安田 聖

ARISSスクールコンタクトは、NASAの教育プログラムの一環として宇宙飛行士の勤務時間内に、業務を割いて無料で行われているものです。このため、**実施日時が決まった後は、NASAの指示(手順書)に従って各種手続きをARISS運用委員会経由で行うこととなります。**このため、これらの手続きが指定の日時まで完了しない場合は、自動的に交信がキャンセルになりますので注意してください。下記に注意事項と手続きについて列挙しますので、日時までに注意事項を遵守して手続きおよび準備をしていただくようお願いします。これらの準備が間に合わない場合は、準備が整うまで実施を延期していただくようお願いします。なお、これらが守れないことによって発生する補償等の全責任は、実施団体(代表者)に負っていただきますので、その旨ご承知ください。

### 注意

**ARISSスクールコンタクトは、アマチュア無線での交信です。交信に関しては、通常のアマチュア無線の交信と同様に、全て電波法等の定めに従って交信する必要があります。特例局であっても例外ではありません。この特例の適用を受けるのは、国際宇宙ステーションとの交信に限り、この交信に参加している小中学生だけです。その他の人は、通常の社団局と同じ扱いですので、無資格では無線機に触ったり操作は行えませんので注意してください。**

また、この交信に使用している無線機に関して、免許状に記載されている出力以上に出しているとの情報が各地で流れていますが、もしこれが本当であれば電波法違反ですので、実施団体は電波法に違反することが無いように十分注意して下さい。また、無資格の小中学生の交信の場合、必ず特例(臨時)局(個人コールではもちろん、特別局・記念局では交信できません)の免許が必要ですので、臨時局の免許の発給を受けて交信してください。一部に、特例局(臨時局)です。特別局、記念局とは異なります)でなくても交信ができると勘違いされている方もおられるようですので、一度総務省の告示(左の「総務省からの報道資料」で見られます)を読んで頂くようお願いします。なお、交信前にこれらの事実が判明すれば、交信をキャンセルさせていただきますので注意してください。くれぐれ子ども達を犯罪行為に巻き込むことがないように、また犯罪者にならないようお願いいたします

### 注意事項

1. 交信は宇宙飛行士の勤務時間内に行われます。日本の場合は、月曜日から金曜日の日本時間16時30分から21時までの間で割り当てられます。NASAから提示のありました交信可能時刻に対して、優先順位を付ける等の希望は言えますが指定は出来ませんので注意してください。
2. スクールコンタクトは、NASAの教育プログラムの一環として宇宙飛行士の勤務時間内に業務を割いて無料で行われているものですので、NASA側の都合でスケジュールの延期等の変更が行われこともあります。
3. 交信に使用する機材は、申請書に記載した機器で行って下さい。記載されている機器で交信可能かどうかを審査した上で申請書を受理していますので、これらと異なる場合は、再度審査の対象となります。機器を変更される場合は、運用委員まで、事前に問い合わせてください。
4. 交信に使用する周波数のうち、アップリンクの周波数は非公開になっています。ダウンリンクの周

波数の 145.80MHz は公開されていますが、**無用のトラブルを避ける為、無線機の周波数が分かる写真やビデオでの撮影を禁止します。** 交信に使用しない周波数の撮影も禁止します。また、報道関係者へ交信周波数が分かるような文面を公表しないように徹底してください。場合によっては、リグの周波数表示が写らないように表示を消す等の対策をリグに施してください。これらの対応が不十分で、周波数が公になった場合は、このために発生する補償等の全責任を実施団体(代表者)に負っていただきますので、その旨ご承知ください。

なお、CQ 出版社に関しては、過去にスクールコンタクトで使用するアップリンクの周波数を公表しないように事前に求めたにもかかわらず取材記事でリグを勝手に操作した上 CQ 誌に掲載したことがあるため、事前に原稿を見せる旨書面で運用委員宛に出さない限り、取材をさせない旨(取材を制限するものであって、主催者がCQ誌に投稿することを制限するものではありません)先方との取り決めがありますので、これに従っていただきます。

5. 申請書に書いていただいた教育計画に従って、生徒たちへの教育・広報、そして多くのメディアに取り上げてもらえるよう努力してください。当日の取材、聴衆の数は、NASA に報告して頂くことになっています。これらの数字が申請書とかけ離れないように努力してください。(多くなるのは歓迎します。)これらの数字が、大幅に少ないと、計画がずさんであるとして、国内での今後のスクールコンタクトが実施できなくなりますので注意してください。

## 手続きに関して

1. 交信予定の週の**2週間(出来れば3週間)前**までに、

1) 質問する子どもたちの順番と質問を決めていただき、名前(苗字は必要ありません)と質問を、当日の質問の順序どおり運用委員までファイルでお送りください。

Number. FirstName: Question  
Number. FirstName: Question

の書式です。

例)

- 1.Eriko: Why did you want to become an astronaut?
- 2.Ryosuke: How do you become an astronaut? How old can we become an astronaut?
- 3.Takaya: What kind of testing do you do in the space station?
- 4.Yumie: Is the earth beautiful? What do you think about it?

2) 申請団体の概要と質問するメンバーの概要も同時にお送りください。

3) 交信に使用する局のコールサイン、特例局(臨時局)で交信される場合は、そのコールサインをお知らせください。(特例局で交信される場合、免許がこの時点で発給されていれば、その免許期間もお知らせください。)

これらのファイルに関しては、1)と2)は、日本語は必要ありません。全て英語(ローマ字)でお願いします。(全て半角で願います。)一度決定した順序や担当の子ども、そして質問内容を変更しないで下さい。変更される場合は、事前に当方まで連絡してください。その時点で、変更可能かどうかお知らせします。タイミングによっては、変更できないこともありますので、皆さんで、事前に良く打ち合わせで決定してください。何問質問できるかは、その時の宇宙飛行士にもよりますが、これまでの例では少ないときで6問、多いときで28問です。子どもたちの人数をあまり多くしないで下さい。また、3)に関し

ては、日本語で結構です。なお、当方のWeb(<http://www.ariss.org>)の「各地の映像情報」に第9次クルーによる、ISS内部の案内のビデオが置いてあります。質問を作成する際の参考にして下さい。

なお、交信予定の週の2週間前までに、これらのリストがいただけない場合は、交信はキャンセルになりますので注意してください。また、頂いた質問リストは、NASAで審査があり、問題がある質問がある場合、差し替えや削除の要求が来ることもありますので注意してください。普段の会話で聞くと失礼に当たる質問(子どもの感覚ではなく、大人の感覚で)や政治的な質問はしないで下さい。特に、宇宙飛行士のイメージを損なう質問はしないで下さい。

**2. 交信予定日の1日前(出来れば、土、日曜日を除いて3日前)**までに、準備状況が完了している旨の連絡を運用委員に連絡してください。NASAへ、準備が完了している旨、運用委員から連絡します。そのとき、

- 1) 交信に使用するコールサイン
- 2) 当日(交信時)の交信場所での緊急連絡先の電話番号(NASAからの緊急の連絡に使用します。携帯電話でもかまいませんが、電波が届くことを確認してください。)
- 3) 臨時免許で交信する場合は交信に立ち会う方の名前、それ以外の場合は最初に交信を行う方の名前(振り仮名をふってください)とその方のコールサイン
- 4) アンテナのSWRの値

をお知らせください。なお、連絡がない場合は、自動的に交信がキャンセルになりますので注意してください。なお、準備が完了していない場合でも、状況を運用委員までお知らせください。

**3. 交信終了直後**に、当方まで正常に実施できたのかどうかをメールでお知らせください。そのとき、何問質問できたのか、また聴衆は何人(子ども、親、その他 各々)来ていたのか、報道機関は何社来ていたのか、TV、新聞社、その他の別でお知らせください。当方から、NASAとARISSに報告します。

**4. 交信終了、24時間以内**に、交信中の音声ファイルと写真のファイルを当方まで添付ファイルで送ってください。また後日、ビデオも送ってください。なお、ビデオは、ミニDV(標準のDVでも可)かDVDもしくはmpgのファイルをお願いします。頂いたものは、運用委員からNASAに送ります。最近NASAから、これらの提供がスクールコンタクトの実施条件とされましたので、これらが準備できない場合は、準備できるまで実施を延期していただくようお願いいたします。これが守れないと今後、各国でのスクールコンタクトが実施できなくなりますので宜しくお願いいたします。

また、これらの写真、ビデオ等をNASA、ARRL、ARISSが使用する場合、そのつど掲載について承諾を得る手続きをしませんので、掲載してよいものをお送りください。

**5. スクールコンタクト実施後、1週間以内**にNASAのホームページで、交信のレポートを実施団体が行うことになっていますので宜しくお願いいたします。このレポートには、3で報告していただいた数字に関して、さらに詳しい報告を求められますので、事前に報告項目をWebで確認してください。

[https://neis.gsfc.nasa.gov/JDbGenie/vol1/htdocs/edcats/user\\_ariss\\_report.html](https://neis.gsfc.nasa.gov/JDbGenie/vol1/htdocs/edcats/user_ariss_report.html)

で入れますので、確認してください。

### **実施団体へのお願い**

ARISSでは、世界中のより多くの人にこのプロジェクトを理解していただく為に、既に一部のスクールコンタクトに関しては、交信の様子の音声、アマチュア無線を使用して中継しています。中継方法として、IRLPとEchoLinkが使用されています。日本国内の交信に関しても、もし可能であれば、IRLPもしくはEchoLinkで音声の中継をしていただくようお願いします。もし、中継していただけるようであれば、安田までご連絡ください。(連絡先は下記参照)

### **連絡先**

現時点での国内でのARISS運用委員は 安田 聖 です。メールアドレスは、[yasuda@ier.hit-u.ac.jp](mailto:yasuda@ier.hit-u.ac.jp) もしくは [7m3tiz@k1zrw.ampr.org](mailto:7m3tiz@k1zrw.ampr.org) です。受信メールにサイズの制限はありませんので、大きなファイルの添付も可能ですが、送信側に制限がある場合は、安田までご相談ください。なお、緊急を要する場合は、どちらにも出して頂くよう、お願いします。

### **更新履歴**

V23 「2. **交信予定日の1日前までの報告**」にSWRの値を追加